

ほのやん

192 休日出勤



今月の表紙

ふれあい里公園の花菖蒲

平年より早く梅雨入りした九州南部地方。梅雨の晴れ間には、ふれあいの里公園の日本庭園に咲いた花菖蒲や紫陽花を見ようと、多くの人々が訪れました。ちなみに、花菖蒲の花言葉は、『うれしい知らせ』『優しさ』『あなたを信じる』などです。

滝摩郷句 兼題『がつつい』

今日で三日がつつい歯痒い女房んスト

(唱) 浮気が原因じゃ 強出もならじ 諸木小春

買手売い手がつつい値が合た早え馬喰

(唱) どっちも喜んぐつ 飲ん方も弾ん 北村虎王

良か悪いかがつつや知れんT P P

(唱) どげんが良とか さっばい解らん 西ノ園ひらり

娘が恋人みがつつい好つか念ぬ押つ

(唱) 難癖付けつ 嫁ろこつ無父 上村牛歩

箸戦好つがつついじゃがち見せじ飲つ

(唱) 勝わん相手な 焼酎ででん勝と 二見愚楽満

大崎短歌会 兼題『風』

初夏の風に押されて一万歩 お釈迦 祭りの賑わいのなか

長重悦子

うらうらと照る春の午後病院へ歩く わたしに風が寄り添ふ

原田葉子

初夏の茶工場より家うちに風運びくる 新茶の香り

中崎ハナエ

あちこちと場所を変えつつ草を抜く 頭上にうなる虎落笛の音

坂元つる子

見まわせば青葉若葉の風のなか吾が 家は最高老一人住む

行騰泰子

大崎俳句会

駅伝の小旗の波や花菜道

内村美恵子

農具小屋猫の騒ぐや燕の子

折田スズ

大クレーン空を制して夏に入る

宮下のし

豆ごはん匂ひ懐し母の顔

益倉睦美

川土手に住む野良猫や葦茂る

坂元つる子

きんぼうげ走る銀輪夕河原

宮脇洋子

人権啓発シリーズ

外国人の人権①

施策の方向性

- ① 町内在住の外国人への理解を深めるための啓発活動や交流事業等を図り、共生意識の醸成に努めます。
- ② 青少年・一般海外研修派遣事業や青少年活動による交流活動の推進に努めます。
- ③ 外国籍の人が、日々の生活を安心して過ごせるように、生活情報の提供や行政サービスの向上など、暮らしやすい環境づくりに努めます。